

国道3号 ひろかわ 広川町～やめ 八女市

第3回 説明資料

令和2年5月13日

国土交通省 九州地方整備局

本日、ご審議いただく内容

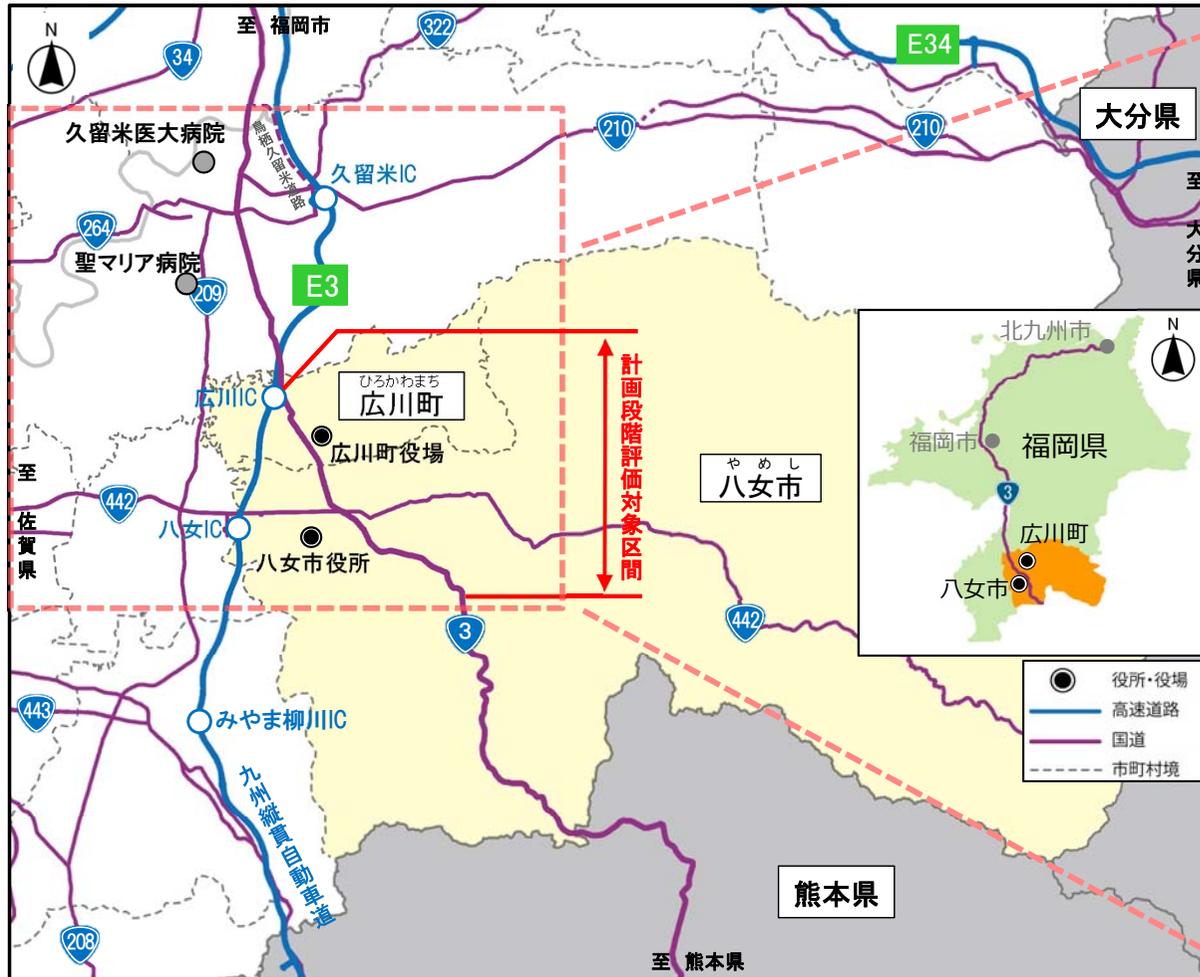
- | | |
|---------------|-------|
| 1. 前回までの審議内容 | ・・・ 2 |
| 2. 第2回意見聴取の概要 | ・・・ 7 |
| 3. 第2回意見聴取の結果 | ・・・15 |
| 4. 対応方針(案)の検討 | ・・・25 |
| 5. 自治体への意見照会 | ・・・29 |
| 6. 対応方針(案)まとめ | ・・・32 |

1. 前回までの審議内容

1-1. 評価対象区間

- 八女市、広川町は、福岡県南部に位置し、九州縦貫自動車道の八女IC、広川ICが存在するほか、九州を南北に縦貫する国道3号、九州を東西に横断する国道442号が分岐・合流するなど道路交通網の結節点を有する地域。
- 評価対象区間は、福岡県を縦貫する国道3号のうち、八女市と広川町の市街地を通過する2車線区間。

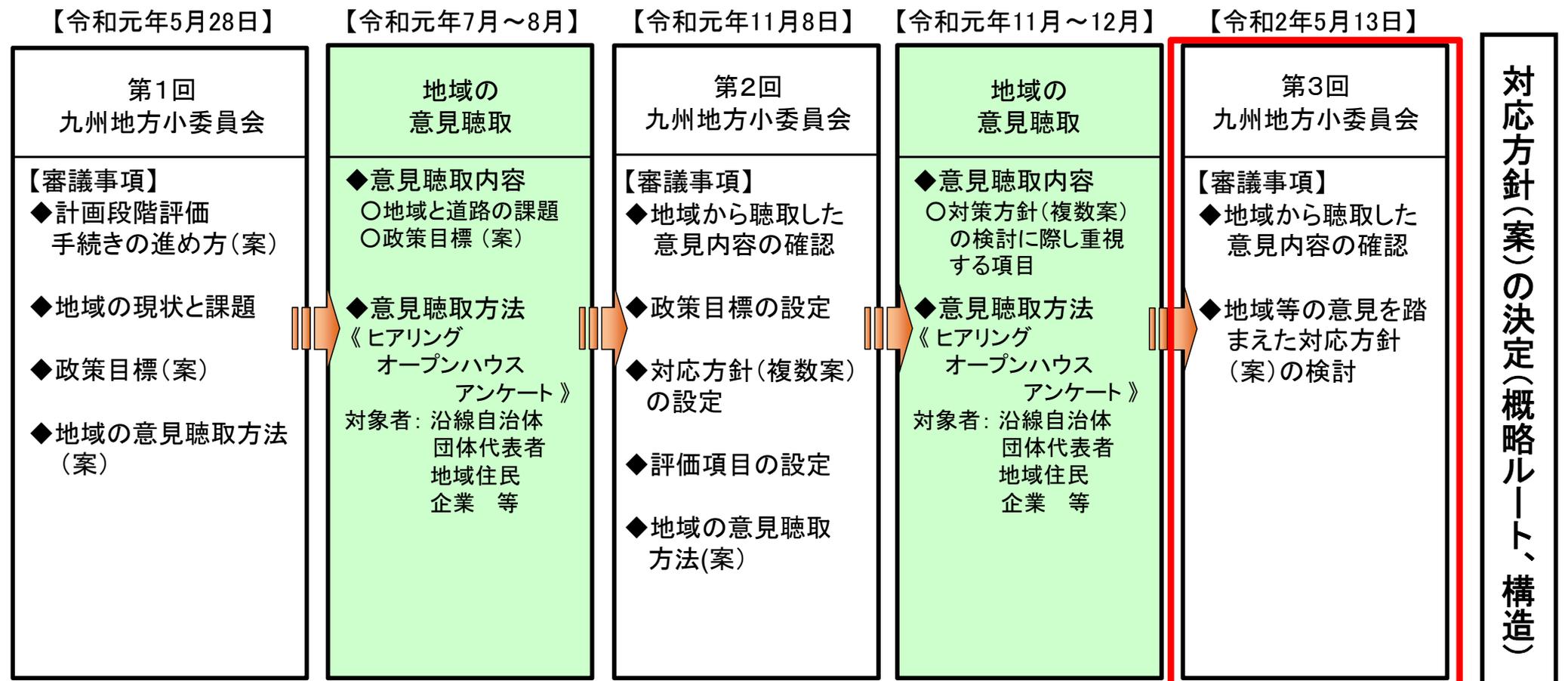
【広域図】



【拡大図】(評価対象区間)



1-2. 計画段階評価手続きの進め方(案)



地方小委員会

1-3. 前回審議内容<九州地方小委員会(2回目)>

●九州地方小委員会(2回目)の概要

■実施日：令和元年11月8日(金)

■主な議題

- | | |
|------------------|------------|
| ①地域から聴取した意見内容の確認 | ④評価項目の設定 |
| ②政策目標の設定 | ⑤複数案の比較評価 |
| ③複数案の設定 | ⑥地域の意見聴取方法 |

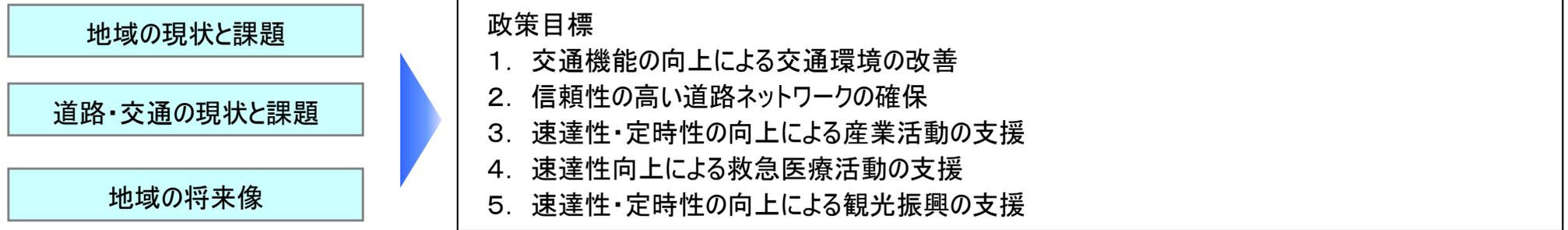
●九州地方小委員会(2回目)での主な指摘事項と対応方針

指摘事項	対応方針
<p>・今後の意見聴取については、対応方針(複数案)検討に係る評価項目等の説明が、より分かりやすい表現となるよう工夫して頂きたい。</p>	<p>・地域住民の方が内容を理解して回答できるようイラストを修正し、丁寧な意見聴取を行った。</p> <p>【修正前(例)】</p>  <p>3 【防災】 災害時に国道3号の代替路として利用できること</p> <p>【修正後(例)】</p>  <p>3 【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に高速道路の通行止めで交通が集中する国道3号の代替路として利用できること ・国道3号の冠水時に代替路として利用できること <p>案①イメージ(現道拡幅案) 案②イメージ(別線バイパス案)</p>

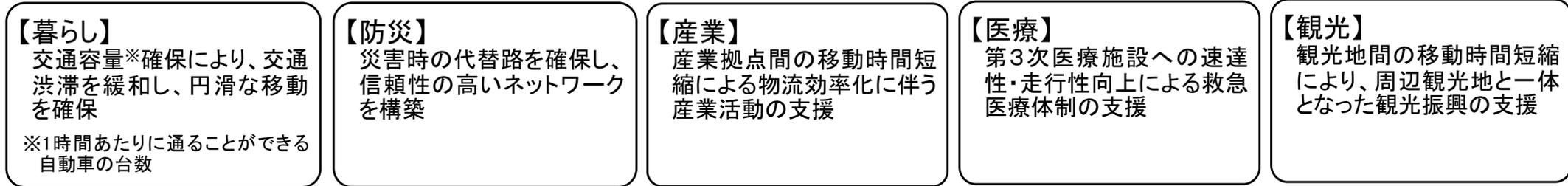
1-4. 政策目標

■ 政策目標の設定

○地域の現状と課題や将来像等を踏まえ、5つの政策目標を設定し、これらの目標を達成するための対策案を検討。

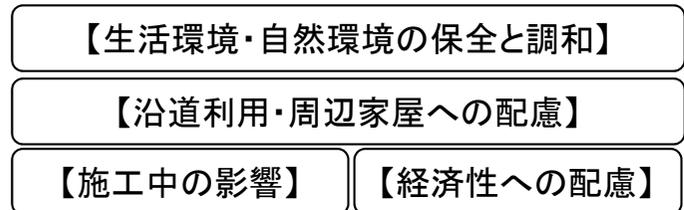


■ 対策案の検討



基本コンセプト: 交通容量および安全性を確保し、交通環境の改善を行うとともに、災害時における信頼性の向上を図る。また、速達性・定時性の向上を図り、新たな雇用の創出等のため工業団地立地等の周辺開発の支援や救急医療活動の支援、観光の振興を目指す。

○対策案を検討する上でのその他の配慮事項



既存の道路ストック活用や別線整備等の対策案を検討

2. 第2回意見聴取の概要

2-1. 第2回意見聴取の概要

■意見聴取は、自治体・団体・企業ヒアリング、地域住民アンケート及びオープンハウスなど、以下の内容を実施した。

■意見聴取期間

令和元年11月22日（金）～令和元年12月27日（金）

■意見聴取の実施状況

対象	意見聴取方法	実施期間	対象の詳細	回収状況	
自治体	ヒアリング	令和元年12月5日（木） ～12月27日（金）	福岡県、八女市、広川町	3自治体	
団体等			商工会、JA、観光案内所、観光協会、タクシー協会、警察署、消防本部、教育委員会	11団体	全78票
企業			製造業、運輸・郵便業、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業、医療・福祉等	67社	
地域住民	アンケート	令和元年11月22日（金） ～12月20日（金）	八女市 約5,400戸、広川町 約1,700戸 （合計7,100戸）	1,886票 〔ハガキ1,827票〕 WEB 59票	全2,377票
	オープンハウス	【平日】：2日間 令和元年12月12日（木） 令和元年12月13日（金） 【休日】：2日間 令和元年12月14日（土） 令和元年12月15日（日）	3箇所 八女市役所 黒木支所 : 平日のみ 広川町町民交流センター「いこっと」 : 平日・休日 八女市民会館「おりなす八女」 : 休日のみ	364票	
広域的な道路利用者	留置き	令和元年11月22日（金） ～12月20日（金）	道の駅（たちばな、鹿北） 九州縦貫自動車道SA・PA （広川SA（上り）、基山PA（下り））	127票 〔ハガキ 57票〕 WEB 70票	

合計2,455票

【設問事項】

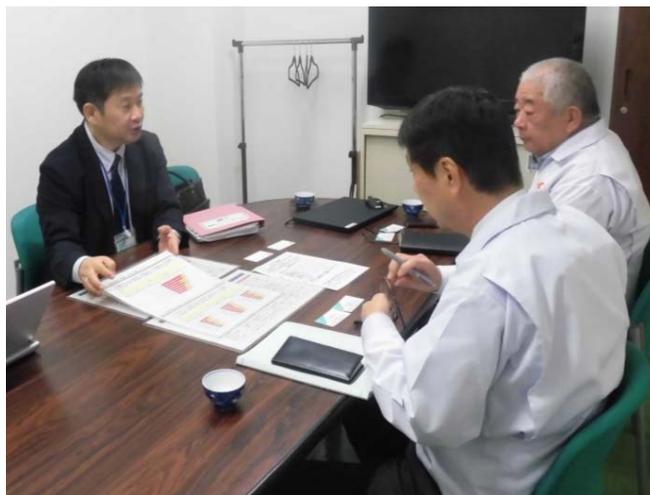
○国道3号広川町～八女市の最適なルート帯および構造を検討するうえで重視すべき事項に対する意見を伺う

2-2. 第2回意見聴取の実施状況 ~ヒアリング~

■ヒアリング実施状況



【運輸業：広川町】



【製造業：広川町】



【団体(JA)：八女市】



【医療、福祉：八女市】

■対 象

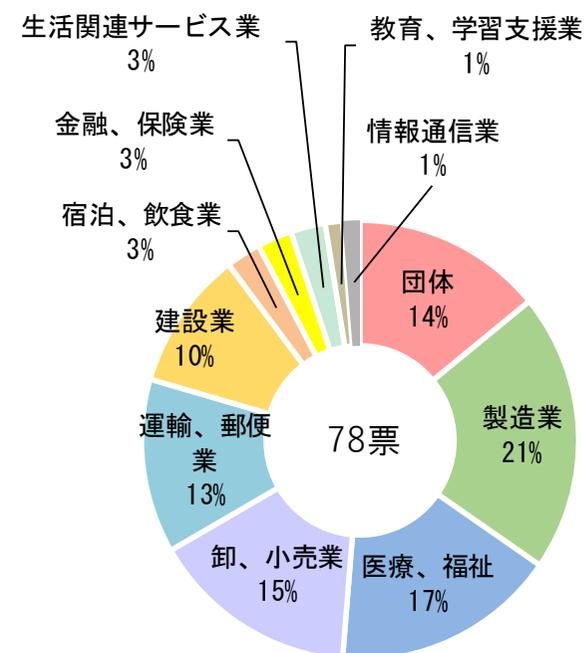
自治体：3自治体

団体等：11団体

企 業：67社

全：78票

■ヒアリング実施団体・企業の内訳



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

2-3. 第2回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

■住民アンケート実施内容

ルート帯および構造を検討するうえで重視すべき事項

1 2 【暮らし】

- 渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと
- 事故の危険性が少ないこと

5 【医療】

- 救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること

4 【産業】

- 輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること

3 【防災】

- 災害時に高速道路の通行止めで交通が集中する国道3号の代替路として利用できること
- 国道3号の冠水時に代替路として利用できること

6 【観光】

- 観光地への所要時間が短いこと

<道路整備による影響>

- ⑦生活環境（騒音など）への影響が小さいこと
- ⑧自然環境（動植物など）への影響が小さいこと
- ⑨家屋や店舗の移転が少ないこと
- ⑩沿道からの利用が便利なこと
- ⑪施工中の影響が小さいこと
- ⑫整備費用が安いこと

■回答はがき

(表 面)



(裏 面)

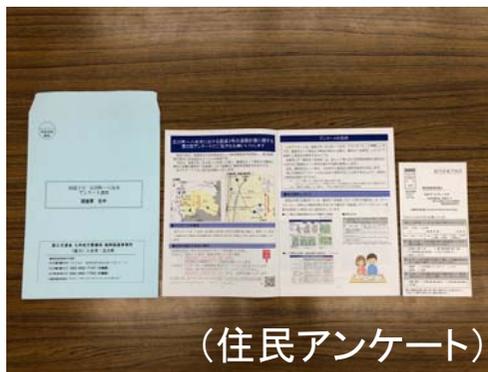
問4-1 対策案を検討する際に、下記の重視すべき事項について5段階で評価してください。
【①～⑫の事項それぞれ該当する箇所につだけ〇をつけてください】

番号	重視すべき事項	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらでもない	あまり重視すべきではない	重視すべきではない
①	渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと	5	4	3	2	1
②	事故の危険性が少ないこと	5	4	3	2	1
③	災害や冠水時に国道3号の代替路として利用できること	5	4	3	2	1
④	輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること	5	4	3	2	1
⑤	救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること	5	4	3	2	1
⑥	観光地への所要時間が短いこと	5	4	3	2	1
⑦	生活環境（騒音など）への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
⑧	自然環境（動植物など）への影響が小さいこと	5	4	3	2	1
⑨	家屋や店舗の移転が少ないこと	5	4	3	2	1
⑩	沿道からの利用が便利なこと	5	4	3	2	1
⑪	施工中の影響が小さいこと	5	4	3	2	1
⑫	整備費用が安いこと	5	4	3	2	1

問4-2 あなたが、上記事項を重視すべきと思う理由や、上記以外で重視すべきと思うことがあれば、ご自由にお書きください。(自由回答)

■住民アンケート調査票・回収状況

対 象：地域住民
配 布：八女市 約5,400戸
 広川町 約1,700戸
意見聴取数：1,886票
 (うちWEB：59票)



(住民アンケート)



(回収はがき)

2-3. 第2回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

■オープンハウス

対 象：地域住民

会 場：・八女市役所
黒木支所
・広川町町民交流センター
「いこっと」
・八女市民会館
「おりなす八女」

意見聴取数：364人

【平日】



■令和元年12月12日(木)
広川町町民交流センター「いこっと」



■令和元年12月13日(金)
八女市役所 黒木支所

【休日】



■令和元年12月14日(土)
八女市民会館「おりなす八女」



■令和元年12月15日(日)
広川町町民交流センター「いこっと」

2-3. 第2回意見聴取の実施状況 ~住民アンケート・オープンハウス・留置き~

■ アンケート回収ボックスの設置

【留置き】



対象 : 広域的な道路利用者
 設置場所 : 道の駅 2箇所
 SA・PA 2箇所
 意見聴取数 : 127票 (うちWEB:70票)

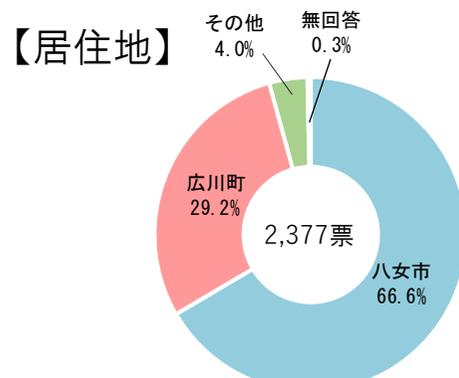
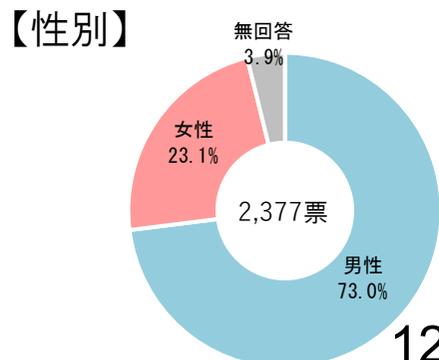
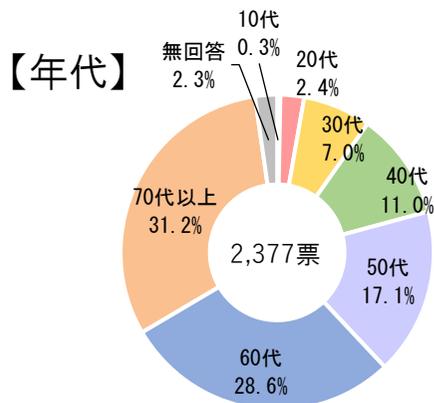
【ポスター】



<道の駅たちばな用掲示ポスター>

<SA・PA用掲示ポスター>

■ 回答者の内訳(住民アンケート・オープンハウス・留置き)



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

2-3. 第2回意見聴取の実施状況 ～住民アンケート・オープンハウス・留置き～

WEBアンケート調査の実施

＜地域住民用＞

広川町～八女市における国道3号の道路計画に関する第2回アンケートにご協力をお願いいたします

国道3号は、福岡県北九州市を起点として熊本県熊本市を經由し、鹿児島県鹿児島市に至る延長431kmの道路です。
今回は、国道3号（広川町～八女市）に關し、最適なルート帯および構造の検討に必要な事項について皆様のご意見を伺います。
本アンケートへのご協力をお願いいたします。

アンケート対象者
本アンケートは、八女市・広川町にお住まいの方から無作為に抽出し、配布しています。ご家族の中で国道3号を最も多く利用される方がご回答くださいますようお願いいたします。

回答の提出方法及び締切
○回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。
【方法1】 同封しています「返信はがき」にご記入頂き、**令和元年12月20日（金）**までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いします。
【方法2】 インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、**令和元年12月20日（金）**までに、回答をお願いします。
A 右記URLをアドレスバーに入力 <https://questant.jp/q/HROKAWAYAME>
B QRコードからアクセス QRコードはこちら

＜広域道路利用者用＞

2019年12月20日締切実施中!

国道3号（広川町～八女市）道路計画に関する意見をお聞かせください アンケート実施中!

国道3号（広川町～八女市）における以下の最適なルート帯および構造の検討に必要な事項について、回答をお願いします。
回答は右記のいずれかの方法のうち1つをお選びください。

【方法1】 返信はがきにご記入後、郵便BOXにお届けください。
【方法2】 アンケートサイトにアクセスし、回答をお願いします。

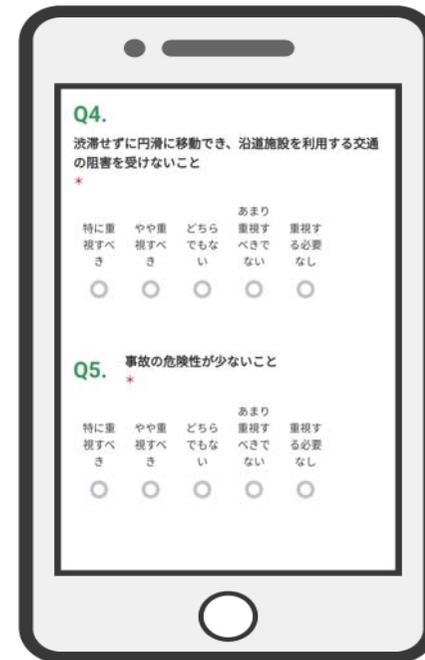
ルート帯および構造を検討するうえで重視すべき事項

○回答の提出方法及び締切
○回答は次のいずれかの方法のうち1つをお選びください。
【方法1】 同封しています「返信はがき」にご記入頂き、**令和元年12月20日（金）**までに、切手を貼らず郵便ポストへご投函をお願いします。
【方法2】 インターネット接続環境のあるスマートフォンまたはパソコンより、下記A、Bいずれかの方法でアンケートサイトにアクセスし、**令和元年12月20日（金）**までに、回答をお願いします。
A 右記URLをアドレスバーに入力 <https://questant.jp/q/HROKAWAYAME>
B QRコードからアクセス QRコードはこちら

＜WEBアンケート開始画面＞



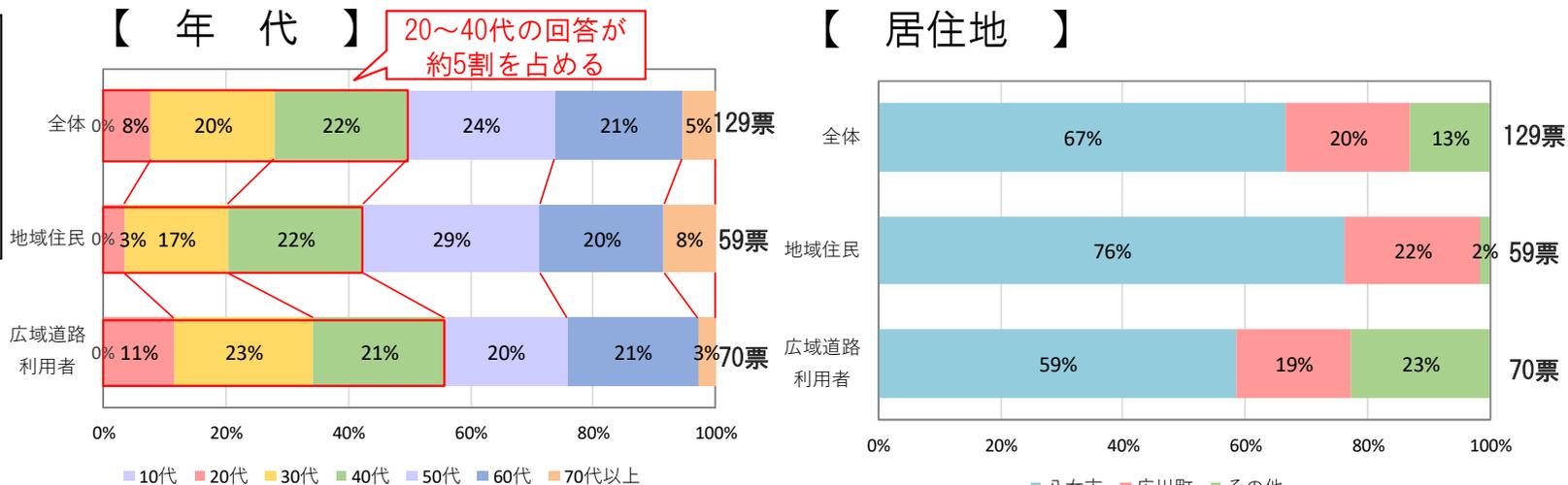
＜WEBアンケート回答画面＞



実施にあたっての工夫

- 地域住民と広域道路利用者それぞれでWEBサイトを準備
- スマートフォン・タブレット・PC対応
- 1人1回までの回答制限を設定

WEBアンケート調査の回答者属性の内訳



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある

2-4. 第2回意見聴取の実施状況 ~広報~

- ①ホームページ対象 : 国土交通省福岡国道事務所ホームページに意見聴取のページ（記者発表）を開設
- ②広報ポスター・チラシ : 市役所、町役場、道の駅等にポスターを掲示
: 広報チラシを配布（八女市、広川町）
- ③地域への情報提供 : F M八女でのオープンハウスの告知（八女市）

①ホームページ（R1. 11. 21記者発表）



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和元年 11月 21日
九州地方整備局
福岡国道事務所

国道3号広川～八女の道路計画を進めるにあたり地域の皆様のご意見をお聞かせください

「社会資本整備審議会 道路分科会 九州地方小委員会」において、計画段階評価®の手続きを進めております「国道3号広川～八女」に関し、最速ルート帯および構造の検討に必要な重視すべき事項について皆様のご意見をお聞かせください。

※計画段階評価とは、新規事業採択の前段階において、政策目標を明確化した上で、複数の対案案の比較評価を行うものです。

アンケート調査について

○実施期間 : 令和元年11月22日（金）から令和元年12月20日（金）

アンケート調査対象者	実施・配布方法
① 沿線住民の方 (令和元年11月22日（金）から12月20日（金）)	・郵送により配布 ・広川町、八女市 ※無作為抽出
② その他の地域にお住まいの道路利用者 (令和元年11月22日（金）から12月20日（金）)	・道の駅「たちばな」(南北)の情報センターで配布 ・九州自動車道 広川IC・E77内(上り)、基山IC・E77内(下り)の情報カウンターで配布

ヒアリング調査について

○実施期間 : 令和元年12月5日（木）から令和元年12月27日（金）

○調査対象等 : 沿線自治体及び国道3号の利用が考えられる団体、企業等

○実施方法 : 対面方式等

オープンハウスについて

○実施期間 : 令和元年12月12日（木）から令和元年12月15日（日）
(平日) 9時から16時、(土・日) 10時から16時

○備 考 : 荒天が予想される場合は延期とし、前日の17時までに福岡国道事務所ホームページでお知らせします。

実施場所	実施日
広川町民交流センター「いっこつ」	・令和元年12月12日（木）、令和元年12月15日（日）
八女市役所 黒木支所	・令和元年12月13日（金）
八女市民会館「おりなす八女」	・令和元年12月14日（土）

【問合せ先】: 国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
 技術副所長 千年 康秀 計画課長 駒井 正樹
 (代表) 電話: 092-681-4731 (直通) 電話: 092-682-7747 FAX: 092-682-7763
 E-mail: fukkoku@mlit.go.jp URL: http://www.qsr.mit.go.jp/fukkoku/

②広報ポスター・チラシ

国道3号(広川町～八女市) 道路計画に関する意見をお聞かせください

web応募も受付中!

国道3号(広川町～八女市)に関する道路整備の計画検討を進めるにあたり、下記の日時・場所においてパネル展示と合わせ、スタッフが説明を行います。**最速ルート帯および構造の検討に必要な「重視すべき事項」について、皆様のご意見をお聞かせ下さい。**

開催日	時間	場所
12月12日(木)	9:00～16:00	広川町民交流センター「いっこつ」
12月13日(金)	9:00～16:00	八女市役所 黒木支所
12月14日(土)	10:00～16:00	八女市民会館「おりなす八女」
12月15日(日)	10:00～16:00	広川町民交流センター「いっこつ」

どなたでもご参加いただけます。どうぞお気軽にお越し下さい。

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
 (協力) 八女市・広川町

【オープンハウス会場アクセスMAP】

広川町民交流センター「いっこつ」

<住所> 八女郡広川町大字新代1965-1
 <開催日> 12月12日 9:00～16:00
 12月15日 10:00～16:00

八女市役所 黒木支所

<住所> 八女市黒木町1314-1
 <開催日> 12月13日 9:00～16:00

八女市民会館「おりなす八女」

<住所> 八女市本町602-1
 <開催日> 12月14日 10:00～16:00

WEBアンケートも実施しています。会場にお越し頂けない方はぜひアクセスして下さい。
 WEBアンケート実施期間: 令和元年11月22日(金)から12月20日(金)まで。お申し込みは、
<https://enquete.qsr.fukuokawamem.go.jp> からアクセスして下さい。

③地域への情報提供（FM八女）

【FM八女80.1MHz】 八女市からのお知らせ (Web版)

FM八女は、福岡県八女市のコミュニティFMラジオ局です。周波数80.1MHzで、24時間放送中です。このブログは、FM八女が毎日(7:00、12:20、20:00)放送している「八女市からのお知らせ」のWeb版です。

2019年12月10日

建設課から国道3号の道路計画に関する意見聴取のご案内について

国土交通省九州地方整備局福岡国道事務所では、八女市と広川町の国道3号の道路整備の計画検討を進めるにあたり、次の日程で意見聴取を行います。

1回目の
 日時は、12月13日、土曜日、午前9時から午後4時まで。
 場所は、八女市役所 黒木支所です。

2回目の
 日時は、12月14日、土曜日、午前10時から午後4時まで。
 場所は、八女市民会館 おりなす八女です。

詳細は、福岡国道事務所計画課、電話092-682-6827-747にお問い合わせください。どなたでもご参加いただけます。「最速ルート帯及び構造の検討に必要な重視すべき事項」について、皆様のご意見をお聞かせください。

3. 第2回意見聴取の結果

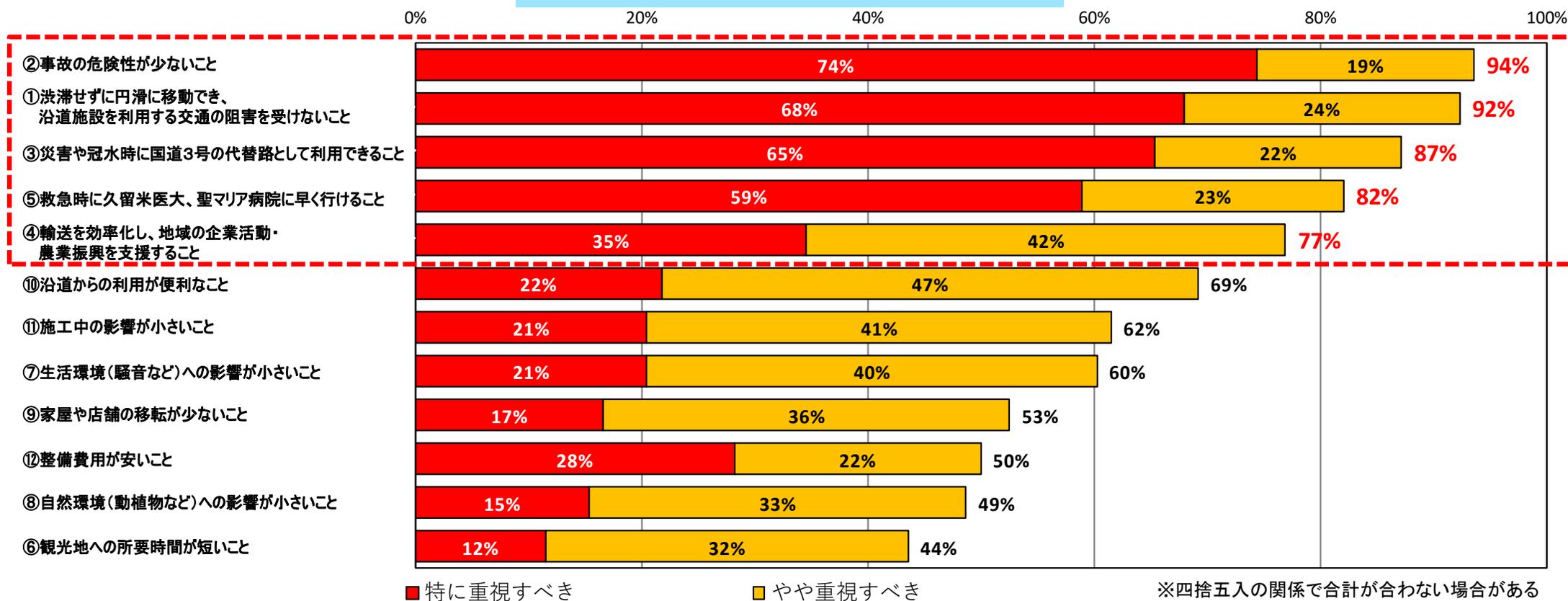
3-1. 第2回意見聴取の結果 (ルート帯案に関すること)

■ 団体・企業(ヒアリング)

○「②事故の危険性が少ないこと」「①渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと」「③災害や冠水時に国道3号の代替路として利用できること」「⑤救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること」「④輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること」について概ね8割が『特に重視すべき』、『やや重視すべき』と回答。

<質問> 最適なルート帯および構造の検討に必要な「重視すべき事項」について、5段階で評価して下さい。
【①～⑫のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください】

【団体・企業(ヒアリング)】 78票



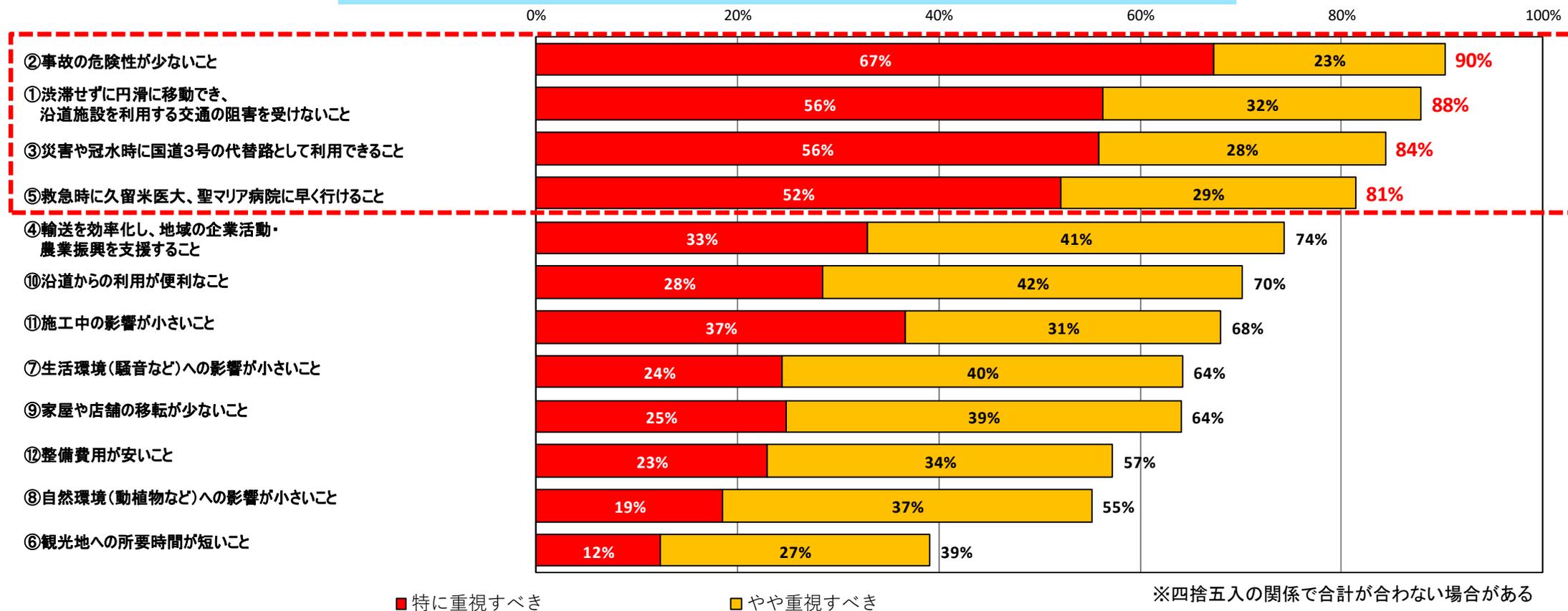
3-2. 第2回意見聴取の結果（ルート帯案に関すること）

■ 地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）

○「②事故の危険性が少ないこと」「①渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと」「③災害や冠水時に国道3号の代替路として利用できること」「⑤救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること」について概ね8割が『特に重視すべき』、『やや重視すべき』と回答。

＜質問＞最適なルート帯および構造の検討に必要な「重視すべき事項」について、5段階で評価して下さい。
【①～⑫のそれぞれ該当する箇所に1つだけ○をつけてください】

【地域住民（住民アンケート・オープンハウス・留置き）】 2,377票



3-3. 第2回意見聴取の結果 (ルート帯案に関すること)

自治体

○自治体からは、政策目標に関して幅広い意見が寄せられた。

(自治体からの主な意見)

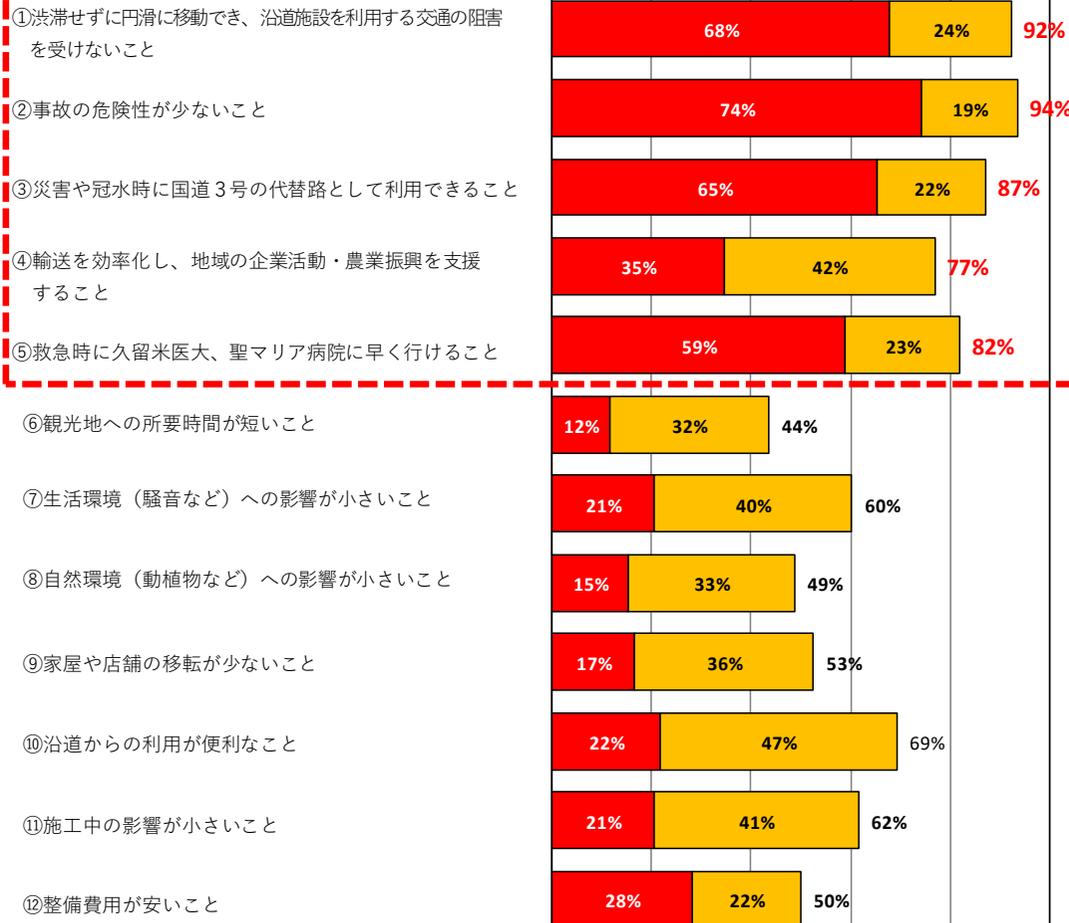
	主な意見
福岡県	<ul style="list-style-type: none"> 東西からの交通が集中することにより渋滞が発生しており、交通を分散させることが重要であることから別線バイパス案が望ましい。 現道3号の渋滞の緩和のためには別線バイパス案が望ましい。 浸水想定区域を通過する距離が最も短い山側ルートが望ましい。 八女市東部地域と広川ICまでの時間短縮効果の高い山側ルートが望ましい。 久留米市の第3次救急医療施設への30分圏域人口が拡大する別線バイパス案が望ましい。 八女市山間部地域から広川ICまでの時間短縮効果の高い山側ルートが望ましい。
八女市	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生活道路であるにもかかわらず、大型車をはじめとする通過交通が多く慢性的に渋滞が発生しているため、国道3号沿線に用のない交通を排除できるバイパス整備が必要。 片側1車線の道路を大型車が多く走行することで視界も悪く、また、通学路に指定された区間もあるが歩道幅員も狭く大変危険と感じる。沿道施設への出入り時等の事故も発生していることから、国道3号沿線に用のない交通を排除し渋滞が緩和されるバイパス整備が必要。地域住民が安心して通行できる道路整備は重要である。 今年の8月にも経験したが、大雨等による異常気象が発生した場合、高速道路が通行止めとなり国道3号に交通が集中し市民の生活のみならず物流等にも支障をきたした。また、過去には国道3号の一部で冠水し通行できない状況も発生した。このような経験も含め、冠水対策も含めた国道3号の代替路の確保は必要である。 八女市でも東部地域は特に農業が盛んであり、特産の農産物等をいち早く市場へ届けるためにも東部地域から最寄りのインターまでの所要時間短縮を短縮できるバイパス整備が必要である。 八女市東部地域は過疎化、高齢化が進んでいる地域でもあるため、東部地区から久留米市の救命救急センターまでの30分圏域人口のエリア拡大が見込めるバイパス整備が必要である。 観光地の周辺が渋滞することは仕方がないが、そこに行き着くまでの道路が渋滞しているのは遠方からの利用者に敬遠されがちと感じている。平成22年の市町村合併以来奥八女地域の観光開発に取り組んでおり、都市圏からの観光客を呼び込む手段として所要時間の短縮が図られるバイパス整備が必要である。 スプロールを抑制することは重要であるため、郊外型店舗等の立地がより抑制される久留米立花線以東のバイパス整備が望ましい。 八女市では、少子高齢化に伴う、人口減少が続いており、定住対策や観光入込客の増加に繋がる東部地域の開発に特に力を入れており、また、現国道3号の渋滞対策や安全対策等地域の抱える諸問題を早期解決していくためにも、案③でのバイパスでの整備を強く要望します。
広川町	<ul style="list-style-type: none"> 案①、②の整備の場合は、国道3号の工業団地入口交差点への接続となり、国道3号の久留米市から広川町間の渋滞問題は継続して残ることから、久留米市から広川町の交通分散も図られる案③の整備が望ましい。 現道の歩道は狭小区間が多く大型車交通量が多い本線では、交通事故も多発し死亡事故も発生しており、自転車通行等は非常に危険な状況です。安心して通行できるためにも、通過交通(特に大型車)を排除できる道路整備が望ましい。 近年、多発する豪雨災害等により、交通が麻痺する状況が多くなっています。長延川との交差部分では、集中豪雨時に冠水する場合もあるため、水害対策も必要。また、高速道路が通行止めとなった場合、高速利用者が国道3号に集中することから、現国道3号に代わる新たな道路整備が必要と考える。 本町は、農業を基幹産業として発展してきた町であり、いちご・なし・ぶどう等の農産物の豊かな町です。こうした農産物の物流輸送では、鮮度に影響することから、速達性が求められます。また、国道沿線には2つの工業団地を有するなど、様々な産業が息衝く町でもあります。立地企業からは、物流ルートとして利用しているところもあり、渋滞による企業の損失もあると聞いています。今後、本町では、広川ICに近いという立地特性を活かした新たな工業団地等の開発も広川東部地域に検討しており、こうした整備にはアクセス道路が不可欠であり、町としては、重要物流道路や産業道路として活用できる案③の道路整備を望みます。 本町では、広川ICに近いという地域特性を活かし、人口減少対策として雇用の場の創出と地域活性化のため広川東部地域に工業団地等の整備計画を検討中です。こうした整備にはアクセス道路が不可欠であり、町としては、重要物流道路や産業道路になり得る案③を希望し、道路整備とあわせて開発計画に取り組んでいこうと考えております。

3-4. 第2回意見聴取の結果 <まとめ> (ルート帯案に関すること)

- 団体・企業および地域住民への各種意見聴取では、「②事故の危険性」について重視している声が9割以上と最も多かった。つづいて、「①渋滞の緩和」についての意見が約9割と多かった。
- 上記以外にも、「③災害時の代替路利用」「⑤救急医療施設への速達性」について概ね8割と多い結果となった。
- 団体・企業意見では、上記以外にも、「④輸送の効率化」について概ね8割と多い結果となった。

【団体・企業(ヒアリング)】

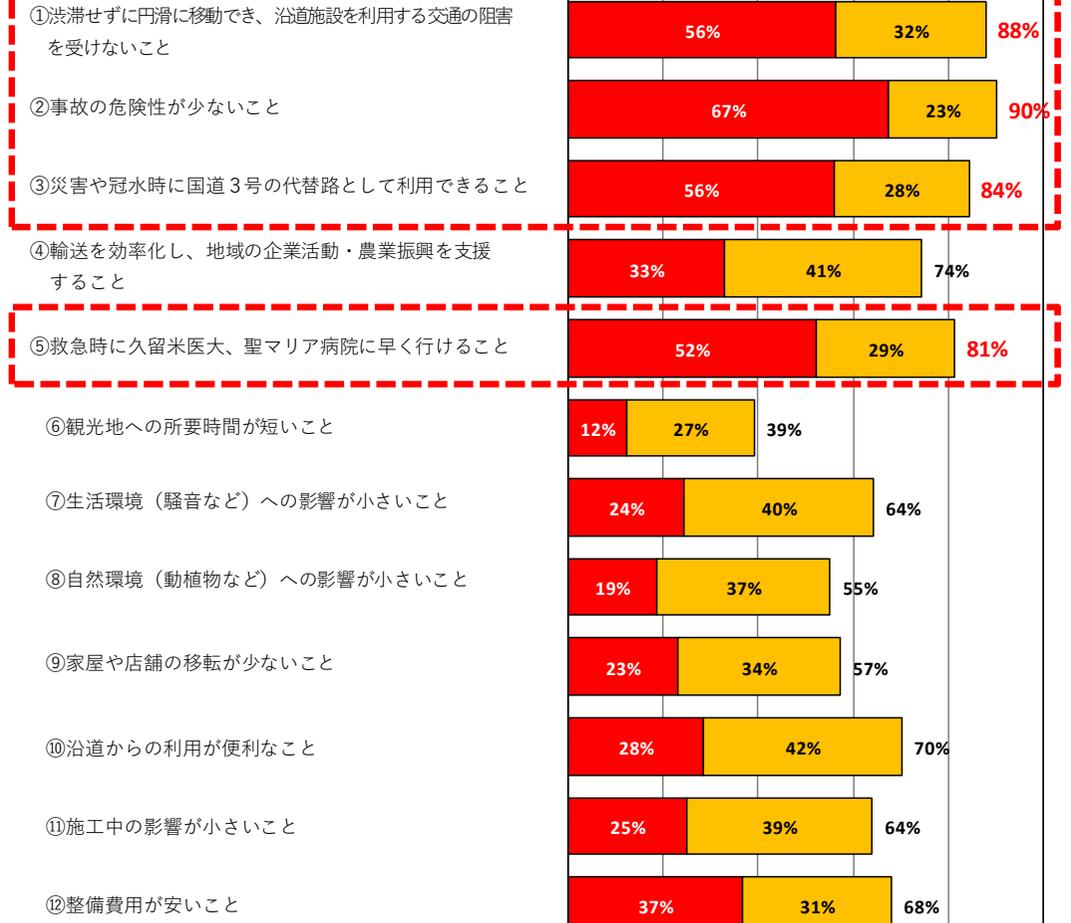
0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき

【地域住民(住民アンケート・オープンハウス・留置き)】

0% 20% 40% 60% 80% 100%



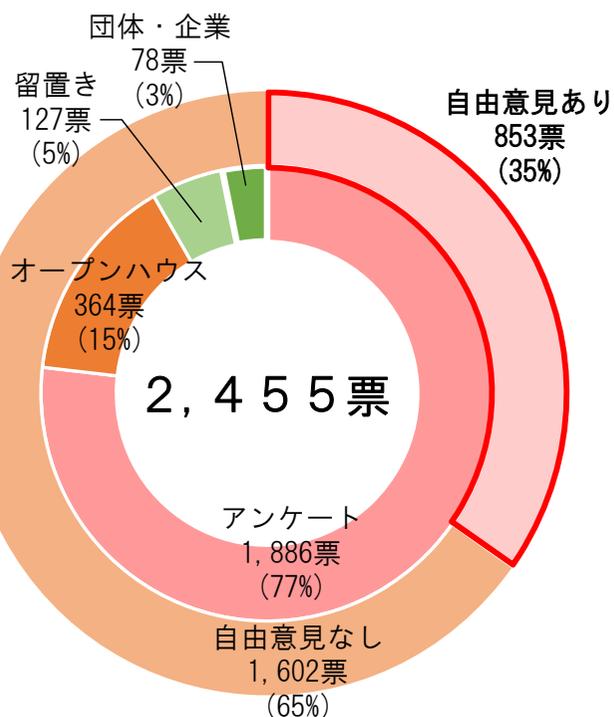
■ 特に重視すべき ■ やや重視すべき

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

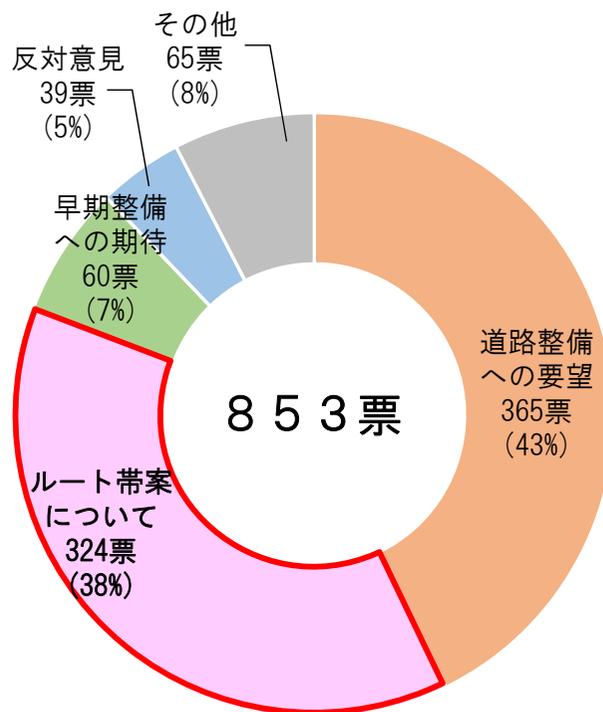
3-5. 第2回意見聴取の結果 <まとめ> (自由意見に関すること)

- 第2回意見聴取において、アンケート1,886票、オープンハウス364票、留置き127票、団体・企業ヒアリング78票、全2,455票の回収を行った。このうち、自由意見として853票の意見が寄せられた。
- 自由意見の内訳として、道路整備への要望、ルート帯案に関する意見が多かった。
- なお、ルート帯案に関する意見については324票(411意見)が出された。

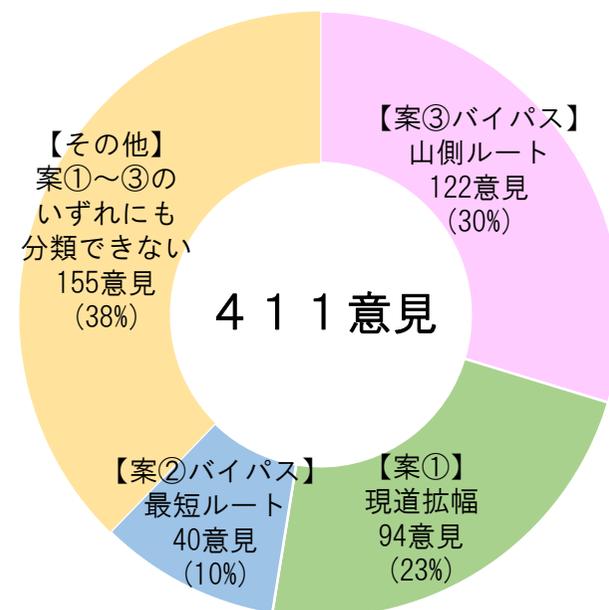
【意見聴取の回収状況】



【自由意見の内訳】



【ルート帯案に関する324票の意見の内訳(411意見)】



※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある

3-6. 第2回意見聴取の結果 <自由意見:ルート帯について「案①現道拡幅案」>

○【案①】現道（国道3号）拡幅案に関する意見では、渋滞の緩和、沿道利用等の意見が多く寄せられた。

■【案①】現道（国道3号）拡幅案：国道3号を4車線に拡幅し、交通容量の拡大を図ることで、交通混雑緩和を図る案<延長 約10km>

評価項目		評価 <第2回意見聴取>	意見 数	自由意見
項 目 下記の○はアンケート設問番号を示す	評価指標 <第2回意見聴取>			
政策目 標	① 渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと	渋滞の緩和	18	・渋滞を解消するため、4車線に拡幅してほしい。(11件) ・渋滞を解消するため、4車線に拡幅してほしい。②案・③案は拡張中の久留米立花線と被る。 ・渋滞を解消するため、案①の現道拡幅か案③の別線バイパスの整備が良いと思う。 ・渋滞を解消するため、現道拡幅、または、バイパスを整備してほしい。 ・八女市街地方面に向かう車が多く、案②、③だと利用する台数が少ないことが予想されるため、案①が良いと思う。(2件) ・案③だと現道から遠いため、現道から多くの転換は見込めず、現道の渋滞は残るのではと考える。案①の現道拡幅案が最も良い。(2件)
	② 事故の危険性が少ないこと	交通事故の減少	9	・道路拡幅する事で渋滞せず事故の危険性が少なくなる。(4件) ・道路拡幅した場合、右折や横断時の事故が懸念される。(3件) ・事故発生時にインターまでスムーズに動ければ良いので、案①が望ましい。 ・現道拡幅ならば、右左折多数箇所のみ拡幅したり出来ないか。
	③ 災害や冠水時に国道3号の代替路として利用できること	災害時の信頼性の向上	3	・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できない ・浸水想定区域を通過する必要があり、冠水時の通行が困難
	④ 輸送を効率化し、地域の企業活動、農業振興を支援すること	輸送の効率化	2	・農業が盛んな八女市東部地域から広川川までの所要時間が現況より7分短縮
	⑤ 救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること	久留米市の第3次救急医療施設への30分圏域人口	4	・第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大するが他案より劣る
	⑥ 観光地への所要時間が短いこと	観光地へのアクセス性	1	・広川川から観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より7分短縮
道路整備による影響	⑦ 生活環境(騒音など)への影響が小さいこと	大気質・騒音等	1	・概ね市街地を通過するため、生活環境への影響は大きく、特に施工時における周辺への生活への配慮が必要
	⑧ 自然環境(動植物など)への影響が小さいこと	田畑・山地の改変	3	・集落・市街地を通過し、田畑・山地の改変は少ない
	⑨ 家屋・店舗の移転が少ないこと	移転が必要となる家屋数	7	・集落・市街地を通過するため、家屋・店舗の移転等は最も多い ・案①は家屋等の移転があるので現実的に難しいと思う。(6件) ・家屋・店舗の移転は、どの案になったところで、大差はない。案①が望ましい。
	⑩ 沿道からの利用が便利なこと	施設へのアクセス性等	10	・案①が望ましい。バイパスにすると町が廃れてしまう。(8件) ・日頃利用することを考えると案①の現3号線の2車線拡幅が良いかと思う。 ・国道3号が4車線に拡幅されると、沿道の店舗への出入りは2車線を跨ぐ右折になり、利用しにくくなるのではないかと。
	⑪ 施工中の影響が小さいこと	施工中の影響	4	・現道拡幅案①は工事中に渋滞を引き起こすことになるため、あまり現実的ではない。(3件) ・施工中の影響は、どの案になったところで、大差はない。案①が望ましい。
	⑫ 整備費用が安いこと	整備に要する費用	7	・費用対効果等を考えると、現道の4車線化が望ましい。(2件) ・新規の道路を整備せず、現3号線を拡幅して経費を減らすことが望まれる。 ・現道拡幅案の場合、整備に時間がかかり、費用も多くなる。(4件)
その他意見			25	・案①が望ましい。(22件) ・案①が望ましい。バイパスの必要性は感じない。(3件)
合計			94	

□：意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目

3-6. 第2回意見聴取の結果 <自由意見:ルート帯について「案②別線バイパス案(最短ルート)」>

○【案②】別線バイパス案（最短ルート）に関する意見では、渋滞の緩和、家屋や店舗の移転等の意見が多く寄せられた。

■【案②】別線バイパス案（最短ルート）：最短ルートを基本に、商業施設や公共施設を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案<延長 約10km>

評価項目		評価 <第2回意見聴取>	意見 数	自由意見
項目 下記の○はアンケート設問番号を示す	評価指標 <第2回意見聴取>			
政策目標	① 【暮らし】交通機能の向上による交通環境の改善	渋滞の緩和	3	・渋滞を解消するため、案②（最短ルート）を整備してほしい。（2件） ・現道拡幅しても渋滞するのではと思うので、別線バイパス案②とした方が分散して良い。
	② 事故の危険性が少ないこと	交通事故の減少	3	・交通の安全と円滑を共に高い次元で達成できればそれに越したことはない。案②（最短ルート案）が良いと思う。 ・カーブが少なく、なるべく最短コース（直線距離が長い）であること ・バイパス案②最短コースについては、住宅地や学校付近を通るので反対。
	③ 【防災】信頼性の高い道路ネットワークの確保	災害時の信頼性の向上	3	・高速道路通行止め時の国道3号の渋滞緩和・代替路確保のため、バイパス案②を整備してほしい。 ・増加している自然災害を考えると、道路は冠水しないように作る必要がある。案②が良いと思う。 ・渋滞緩和と災害時の迂回路の効果が必要だと思う。八女東部へのアクセス改良も求められるので案②も良いのではと思う。
	④ 【産業】速達性・定時性の向上による産業活動の支援	輸送の効率化	0	
	⑤ 【医療】速達性向上による救急医療活動の支援	久留米市の第3次救急医療施設への30分圏域人口	0	
	⑥ 【観光】速達性・定時性の向上による観光振興の支援	観光地へのアクセシビリティ	1	・黒木の方に観光に行くには便利になる。八女を通過することを考えるのなら②案、黒木の方に行くことを考えるなら③案が良いと思う。
道路整備による影響	⑦ 生活環境	大気質・騒音等	0	
	⑧ 自然環境	田畑・山地の改変	2	・重要だと考えているので、案②の最短ルートが望ましい。 ・案②は圃場整備が完了しているので影響が大きい。
	⑨ 家屋・店舗への影響	移転が必要となる家屋数	4	・案①は店舗の移転等で現実的でない。案②が望ましい。（2件） ・家屋や店舗の移転が少ないので案②が良いと思います。（2件）
	⑩ 沿道利用	施設へのアクセシビリティ等	1	・案②が望ましい。案③だと八女市内が寂れる。
	⑪ 施工中の影響	施工中の影響	0	
	⑫ コスト	整備に要する費用	約300～350億円	1
その他意見			22	・案②が望ましい。（18件） ・案②が利用しやすく、望ましい。（3件） ・町中心部のルートでは地域が分断されこれまで培ってきたコミュニティカの低下が危惧される。
合計			40	

□：意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目

3-6. 第2回意見聴取の結果 <自由意見:ルート帯について「案③別線バイパス案(山側ルート)」>

○【案③】別線バイパス案（山側ルート）に関する意見では、代替路の確保や整備費用等の意見が多く寄せられた。

■【案③】別線バイパス案（山側ルート）：山間部に沿って、集落や市街地、浸水想定区域を可能な限り回避でき、通過交通を分離する案<延長 約11km>

評価項目		評価 <第2回意見聴取>	意見数	自由意見		
項目 下記の◎はアンケート設問番号を示す	評価指標 <第2回意見聴取>					
政策目標	【暮らし】交通機能の向上による交通環境の改善	① 渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと	渋滞の緩和	・通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる ・通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる	4	・渋滞を解消するため、案③バイパスを整備してほしい。(3件) ・渋滞を解消するため、案①の現道拡幅か案③の別線バイパスの整備が良いと思う。
		② 事故の危険性が少ないこと	交通事故の減少	・渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる	0	
	【防災】信頼性の高い道路ネットワークの確保	③ 災害や冠水時に国道3号の代替路として利用できること	災害時の信頼性の向上	・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できる ・別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可能	14	・3号線で重大事故や冠水が起きると、4車線であったとしても機能しなくなるため、バイパス案③の整備が望ましい。 ・高速道路通行止め時の国道3号の渋滞緩和・代替路確保のため、バイパス案③を整備してほしい。 ・緊急時、災害時に目的地に早く行くことが出来ることを考え、③案が望ましい。 ・災害、冠水時の代替路としては急ぎで山側ルートが良い。 ・山側ルートが水害の被害を受けない。(3件) ・案③は土砂災害の危険性があるのではないかと。(7件)
	【産業】速達性・定時性の向上による産業活動の支援	④ 輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること	輸送の効率化	・農業が盛んな八女市東部地域から広川Cまでの所要時間が現況より16分短縮 ・広川町が検討中の広川東部地域の新たな工業団地等の計画への支援が期待できる	7	・上広地域に定住可能な核となる企業・工場等を誘致・開発することセットで案③の整備を進めて欲しい。(3件) ・八女市東部地区にとって農業と観光の振興が活性化には重要であり、産業の振興が若者の定住促進に繋がる。山側ルートが最も利便性が高い。(3件) ・現在は最寄りの広川Cから高速道路を利用しているが、案③ができれば熊本方面への運搬は広川Cを利用しなくなる可能性もある。過疎化を解消するためにも案③の整備が望ましい。
	【医療】速達性向上による救急医療活動の支援	⑤ 救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること	久留米市の第3次救急医療施設への30分圏人口	・第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏人口が拡大する	2	・奥八女から久留米方面の病院に行きやすくなる案③を望む。 ・救急搬送等を考えると山側の整備の方が安心できるので案③が良い。
	【観光】速達性・定時性の向上による観光振興の支援	⑥ 観光地への所要時間が短いこと	観光地へのアクセス性	・広川Cから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より16分短縮	3	・黒木の方に観光に行くには便利になる。八女を通過することを考えるのなら②案、黒木の方に行くことを考えるのなら③案が良いと思う。 ・山側ルートにするのであれば、観光等により役立つルートにすることが望ましい。 ・案③だと途中に「道の駅」を作り経済効果も期待できる。観光地としても効果を期待できる。観光「広川」が誕生するかもしれない。
道路整備による影響	生活環境	⑦ 生活環境(騒音など)への影響が小さいこと	大気質・騒音等	・点在する集落を概ね回避でき、生活環境への影響は小さい	0	
	自然環境	⑧ 自然環境(動植物など)への影響が小さいこと	田畑・山地の改変	・概ね田畑・山地を通過し、田畑・山地の改変を伴う	1	・山側ルートを作ることを考えたら久留米立花線を整備する方が望ましい。自然破壊すべきでない。
	家屋・店舗への影響	⑨ 家屋や店舗の移転が少ないこと	移転が必要となる家屋数	・集落・市街地を概ね回避するため、家屋・店舗の移転等は少ない	10	・集落・市街地を可能な限り回避した別線バイパス案(山側ルート)が良いと思う。(6件) ・国道3号を拡幅するのは難しい。山側ルートだとアクセス性も良くなり、用地買収もうまくできる。(4件)
	沿道利用	⑩ 沿道からの利用が便利なこと	施設へのアクセス性等	・別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る	0	
	施工中の影響	⑪ 施工中の影響が小さいこと	施工中の影響	・集落や市街地を避けているため、施工中の影響が小さい	2	・工事中の影響が少ない案③を希望する。 ・拡幅案は、工事中の渋滞が懸念されるが、山側ルートバイパスならば、工期の短縮にもなると思う。
	コスト	⑫ 整備費用が安いこと	整備に要する費用	約250~300億円	13	・拡幅案は、コストが高いが、山側ルートバイパスならば、コスト減になる。(2件) ・整備費用が安い山側ルートが良いと思う。(9件) ・工事費の少ない案③を希望する。 ・人のいない山地を使って道路を作ったとしても、建築費用は下がるかもしれないが、維持管理に費用高となるので、平野部につくった方がよい。山側ルートでは、町民・市民の活用度も低くなると思われる。
その他意見					66	・案③が望ましい。(17件) ・整備された県道藤山分一丁田線との接続を考えると、山側ルートが効果的であると思われる。 ・案③でJAふくおか園芸センター辺りから南へ移動できないか(この辺りから案②と合流する案)。 ・地域活性化につながる案③が良い。(3件) ・山側ルートは上広地区の活性化に繋がる。(13件) ・山間部の過疎化の防止、発展につながる案③を希望する。(20件) ・八女市東部地域からのアクセスが良い案③が望ましい。(10件) ・案③だと下広川地区の衰退が心配である。
合計					122	

3-6. 第2回意見聴取の結果 <自由意見:ルート帯について「その他」>

○【その他】案①～案③のいずれにも分類できないもの

評価項目		意見数	自由意見	
項目 下記の①はアンケート設問番号を示す	評価指標 <第2回意見聴取>			
政策目標	① 渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと	渋滞の緩和	32	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞を解消するため、バイパスを整備してほしい。(18件) ・通過交通はバイパスを利用して、現道の渋滞解消を図ることが必要。(6件) ・国道3号のバイパスができることで、国道3号の現道が空いて現道に入りやすくなると良い。(2件) ・現道拡幅しても渋滞するのではと思うので、別線バイパス案とした方が分散して良い。(3件) ・渋滞を解消するため、現道拡幅、または、バイパスを整備してほしい。 ・バイパス案は久留米市内に乗り入れする後には効果がない。総合的に車の移動がスムーズに移行する方が良い。 ・全ての案が最終的に国道3号線の工業団地入口交差点に結び着く事から、同交差点の渋滞が増す事となると思われるのでその点の措置を提示してもらいたい。
	② 事故の危険性が少ないこと	交通事故の減少	11	<ul style="list-style-type: none"> ・国道3号は大型車が多く、危険な道路で、事故も多いため、バイパスを整備してほしい。(5件) ・子供達の安全を確保するため、バイパスを整備してほしい。 ・バイパス整備をして大型車の通過交通を現在の国道3号から分離すれば、市街地の安全に繋がる。(4件) ・別線バイパス案ならば、生活道路が変わる可能性がある為、事故防止を考えてほしい。
	③ 災害や冠水時に国道3号の代替路として利用できること	災害時の信頼性の向上	38	<ul style="list-style-type: none"> ・国道3号の冠水時、事故発生時の代替路確保のため、バイパスを整備してほしい。(13件) ・3号線で大事故や冠水が起きると、4車線であったとしても機能しなくなるため、バイパス整備が望ましい。(3件) ・高速道路通行止め時の国道3号の渋滞緩和・代替路確保のため、バイパスを整備してほしい。(8件) ・災害や事故発生により高速道路や国道3号が通行止めとなった際に、代替路として利用できるバイパスを整備してほしい。(12件) ・災害に強いバイパスが必要。 ・別線バイパスを作っても大雨の時は通行できない。
	④ 輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること	輸送の効率化	4	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパスを作ることにより、新たな産業的需要が生まれると地域も活性するのではと思う。 ・企業の誘致、農業振興支援を積極的に行い、遠方からの人達を呼びよせる手段が必要だと思う。そのための第一歩として、3号バイパスの存在は不可欠であると思う。 ・物資の輸送を考える上でも3号は重要で、バイパスだと大きく改善が図られると思う。(2件)
	⑤ 救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること	久留米市の第3次救急医療施設への30分圏域人口	4	<ul style="list-style-type: none"> ・3号の渋滞時・冠水時等に救急車が代替路として利用できることを重視すべきであり、バイパス整備が良いと思う。(3件) ・現道拡幅案にしても融通が効か分からないため、別線バイパス案が望ましい。
	⑥ 観光地への所要時間が短いこと	観光地へのアクセス性	1	<ul style="list-style-type: none"> ・観光や長距離トラックの方々に向けて、色々なルートが活用できると地域のPRになると思う。
道路整備による影響	⑦ 生活環境(騒音など)への影響が小さいこと	大気質・騒音等	6	<ul style="list-style-type: none"> ・国道3号沿いは騒音が酷いので、新しい道路を整備して交通量を分散してほしい。(3件) ・大型車利用が多いため、路面の損傷が激しく、沿線住民は振動と大騒音に悩まされている。山間部をも含む国道3号の抜本的な改良が望ましい。 ・騒音及び道路の広さを気にしないルートが望ましい。・国道は騒音・振動がひどい。住宅地から離れたコースを通すべき。
	⑧ 自然環境(動植物など)への影響が小さいこと	田畑・山地の改変	1	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境への影響を抑えつつ、通行する人に八女の資源である自然を見て貰うことが重要。バイパスルートで農業景観を見て貰う事で、八女らしさが伝わり印象に残るのではないか。
	⑨ 家屋や店舗への影響	移転が必要となる家屋数	4	<ul style="list-style-type: none"> ・現道拡幅案は、沿線の立地状況を見ると現実的ではなく、バイパス整備が望ましい。(3件) ・立退等を考えると、バイパス整備が望ましい。
	⑩ 沿道からの利用が便利なこと	施設へのアクセス性等	8	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス整備をして大型車の通過交通を現在の国道3号から分離すれば、沿道の活性化に繋がる。(3件) ・バイパスだった場合、バイパス沿いにも店舗ができてくる。・バイパスの沿道には、施設等はない方が良い ・バイパスが整備されて、通過されるだけになってしまうということは懸念される。(3件)
	⑪ 施工中の影響が小さいこと	施工中の影響	1	<ul style="list-style-type: none"> ・工事中に緊急車両の運行に大きな影響を与える現道拡幅の案①は非常に厳しく、交通分散が可能なバイパスによる代替路整備が望ましい。
	⑫ 整備費用が安いこと	整備に要する費用	3	<ul style="list-style-type: none"> ・国道3号線拡幅案は、沿線家屋の立ち退き移転がかかる費用が大きいため、別線バイパスが望ましい。 ・整備費用にはこだわらず、上手く利便性があるようなバイパスを作してほしい。 ・国道3号線のバイパスを整備するよりも、久留米立花線の整備を進めた方が、費用も少なく済むと思う。
その他意見			42	<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス整備が望ましい。(25件) ・バイパス整備が望ましいが、4車線バイパスの方が良い。 ・バイパスができてあまり利用しない。・現道より東部地域に計画した方が良いと思う。 ・バイパスが良いと思うが、3号線から離れすぎると利用価値が下がる。東の方に出来ると良い。 ・バイパス整備は地域の発展、活性化に繋がる。(6件) ・現道拡幅案・バイパス案だけではなく、交差点の高架案も検討すべきではないか。 ・BPであれば国道422号との交差点は立体にして欲しい。・広川インターから立体でバイパスへ ・重視すべき事項が満足されればいずれの案でもよい。(3件) ・主要交差点の立体化。案②、③も4車線化。
合計			155	

4. 対応方針(案)の検討

4-2. 対応方針(案)の検討 <複数案の比較>

■ 比較評価の結果、意見聴取結果にて重要視されている全ての政策目標の達成が見込めるほか、道路整備による影響についても、他案より総合的に優れていることから、ルート帯案については、【案③】別線バイパス案(山側ルート)を対応方針(案)とする。

評価項目		【案①】現道(国道3号)拡幅案	【案②】別線バイパス案(最短ルート)	【案③】別線バイパス案(山側ルート)
項目	評価指標	現道の国道3号を拡幅する案	起終点を最短で結んだ別線バイパス案	集落・市街地を可能な限り回避した別線バイパス案
		約10km	約10km	約11km
政策目標	【暮らし】交通機能の向上による交通環境の改善	① 渋滞の緩和	△ ・交通量に応じた車線数が確保され、渋滞緩和が図られる ・交通が集中し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害等の要因が残る	○ ・通過交通が別線へ転換し、現国道3号の渋滞緩和が図られる ・通過交通が別線へ転換し、沿道施設や接続する道路からの出入り車両による通行阻害の緩和が図られる
		② 交通事故の減少	△ ・交通が集中し、沿線店舗や接続する道路からの出入り車両による加減速を要因とした事故が懸念される	○ ・渋滞の緩和により、現国道3号の交通事故減少が見込まれる
	【防災】信頼性の高い道路ネットワークの確保	③ 災害時の信頼性の向上	× ・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できない ・浸水想定区域を通過する必要があり、冠水時の通行が困難	○ ・災害時、高速道路通行止めによる国道3号の交通集中が発生した場合、代替路が確保できる ・別線により道路の高さを確保することで、現国道3号の冠水時に別線での通行が可能
	【産業】速達性・定時性の向上による産業活動の支援	④ 輸送の効率化	× ・農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より7分短縮	△ ・農業が盛んな八女市東部地域から広川ICまでの所要時間が現況より13分短縮
	【医療】速達性向上による救急医療活動の支援	⑤ 久留米市の第3次救急医療施設への30分圏域人口	× ・第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大するが他案より劣る	○ ・第3次救急医療施設への搬送時間の短縮が図られ、30分圏域人口が拡大する
	【観光】速達性・定時性の向上による観光振興の支援	⑥ 観光地へのアクセス性	× ・広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より7分短縮	△ ・広川ICから観光資源に恵まれている八女市山間部地域までの所要時間が現況より13分短縮
道路整備による影響	生活環境	⑦ 大気質・騒音等	× ・概ね市街地を通過するため、生活環境への影響は大きく、特に施工時における周辺への生活への配慮が必要	△ ・点在する集落を通過するため、生活環境への影響は大きい
	自然環境	⑧ 田畑・山地の改変	○ ・集落・市街地を通過し、田畑・山地の改変は少ない	× ・概ね田畑・山地を通過し、主に田畑の改変を伴う
	家屋・店舗への影響	⑨ 移転が必要となる家屋数	× ・集落・市街地を通過するため、家屋・店舗の移転等は最も多い	△ ・点在する集落を通過するため、家屋・店舗の移転等は多い
	沿道利用	⑩ 施設へのアクセス性等	○ ・現国道3号沿道の商業施設などに直接アクセスできる	× ・別線案であるため、現国道3号沿道の商業施設などへのアクセス性に劣る
	施工中の影響	⑪ 施工中の影響	× ・工事中は交通を確保するため交通の切り回しが発生し周辺店舗や家屋への影響が大きい	△ ・集落が点在するため工事中の影響が大きい
	コスト	⑫ 整備に要する費用	× 約330~380億円	△ 約300~350億円

比較表の内容は、現時点で想定される概ねのルート評価を一般的な目安として記載している。
(○ : 改善・満足する △ : 一部改善・満足する × : 他案に比べ劣る)

 意見聴取で重視、または配慮すべきとされている上位の項目
 他の案に比較し優位

4-3. 対応方針(案)の検討 <ルート帯案の位置>

【ルート帯案の考え方】

■通過交通を分離することで現国道3号の交通を転換し、渋滞の緩和、交通事故の減少、災害時の代替路機能の確保、緊急搬送時の速達性の向上、産業活動および観光における速達性・定時性の向上を図るとともに、最も効率的に整備できる経済性や家屋・店舗の移転数など生活環境の影響を最小限に考慮したルート



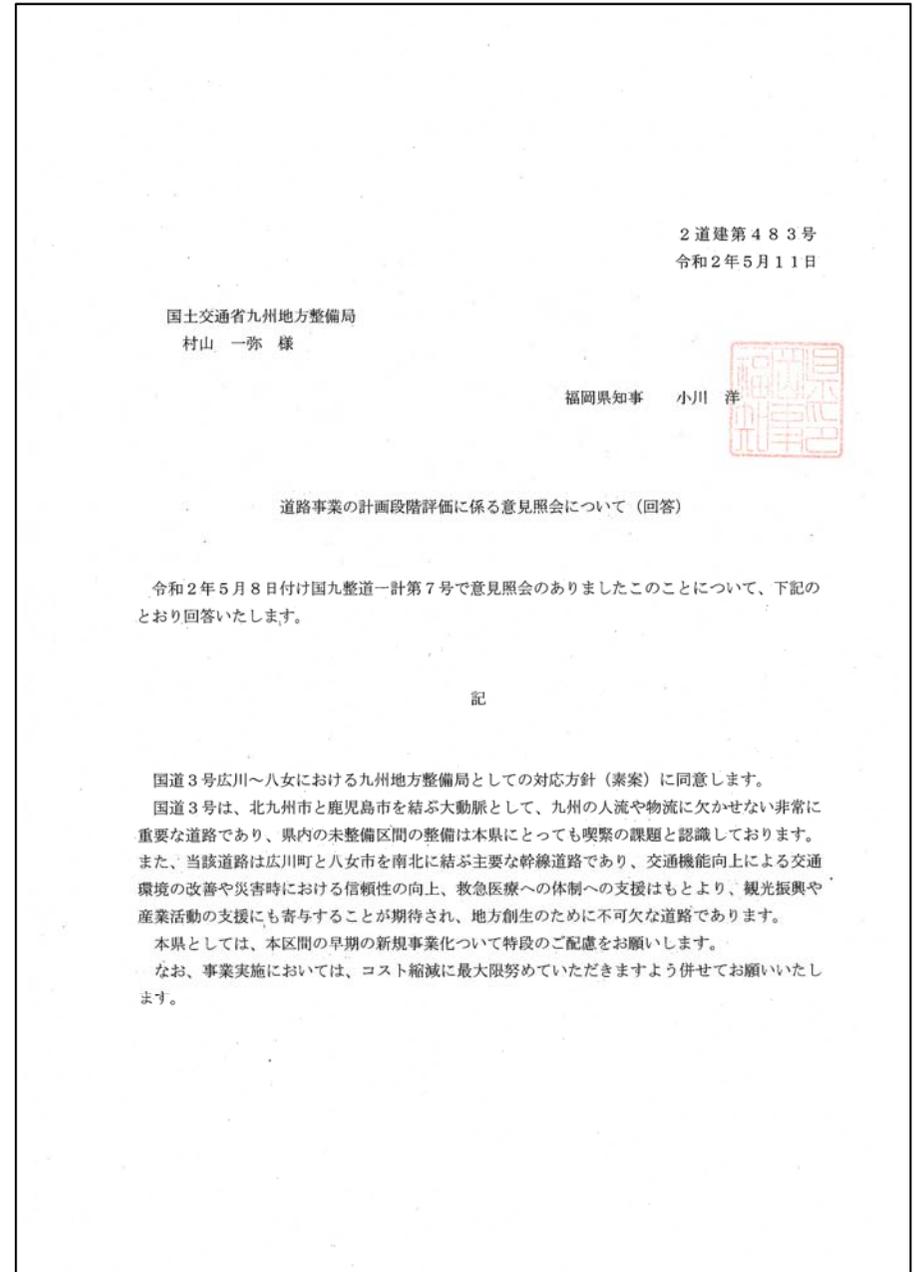
5. 自治体への意見照会

5-1. 自治体への意見照会＜対応方針(案)に対する自治体意見＞

■意見照会の回答(要旨)

自治体名	意見
福岡県	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国道3号広川～八女における九州地方整備局としての対応方針(素案)に同意します。 2. 国道3号は、北九州市と鹿児島市を結ぶ大動脈として、九州の人流や物流に欠かせない非常に重要な道路であり、県内の未整備区間の整備は本県にとっても喫緊の課題と認識しております。 3. また、当該道路は広川町と八女市を南北に結ぶ主要な幹線道路であり、交通機能向上による交通環境の改善や災害時における信頼性の向上、救急医療への体制への支援はもとより、観光振興や産業活動の支援にも寄与することが期待され、地方創生のために不可欠な道路であります。 4. 本県としては、本区間の早期の新規事業化について特段のご配慮をお願いします。 5. なお、事業実施においては、コスト縮減に最大限努めていただきますよう併せてお願いいたします。

■意見照会の回答(福岡県知事)



6. 対応方針(案)まとめ

6-1. 対応方針(案)まとめ

1. 道路整備の必要性

【理由】

政策目標を**実現できる道路整備を検討**

【政策目標】

- ◇ 交通機能の向上による交通環境の改善
- ◇ 信頼性の高い道路ネットワークの確保
- ◇ 速達性・定時性の向上による産業活動の支援
- ◇ 速達性向上による救急医療活動の支援
- ◇ 速達性・定時性の向上による観光振興の支援

- 対象地域は、渋滞発生や事故の発生割合が高いこと、高速道路通行止め時に国道3号に交通が集中すること等が課題であり、交通容量・安全性の確保、災害時における代替路の確保、移動時間短縮による産業活動・医療体制・観光振興を支援する道路の整備が必要。
- 住民アンケートや団体・企業ヒアリングにおいても、安全性の確保や、渋滞の緩和に加え、災害時の代替路が必要という意見が多く、このような政策目標を実現できる道路が望まれている。

2. 対応方針(案)

■ ルート帯案について

『【案③】別線バイパス案(山側ルート)』を対応方針(案)とする。

【理由】

- 『【案③】別線バイパス案(山側ルート)』は、『【案①】現道(国道3号)拡幅案』、『【案②】別線バイパス案(最短ルート)』と比べて、全ての政策目標の達成が見込まれる。
- 地域の意見聴取において重視すべきとの回答が多かった、「②事故の危険性が少ないこと」、「①渋滞せずに円滑に移動でき、沿道施設を利用する交通の阻害を受けないこと」、「③災害や冠水時に国道3号の代替路として利用できること」、「⑤救急時に久留米医大、聖マリア病院に早く行けること」、「④輸送を効率化し、地域の企業活動・農業振興を支援すること」の項目についても【案③】は優れており、地域のニーズにも応えられている。
- 道路整備による影響に関して、「生活環境」、「家屋・店舗への影響」、「コスト」等については【案①】【案②】に比べて、【案③】が優れている。
- 自治体からも全ての政策目標の達成が見込まれる、【案③】を望む意見が挙げられている。
- 比較評価の結果、【案③】は意見聴取結果にて重要視されている全ての政策目標の達成が見込まれるほか、道路整備による影響についても、他案より総合的に優れている。

3. その他(配慮すべき事項等)

- アクセスコントロールが可能な道路構造とし、通過交通を分離する事で国道3号沿線を利用する人の利便性が高まる。
- 詳細なルート・構造の検討にあたっては、コスト縮減に留意して検討を行うとともに、既存の道路状況や沿道利用状況を踏まえながら、新たに整備される道路と既存の道路の接続方法や計画地周辺の土地利用計画について、各関係自治体と調整を行う。

6-2. 対応方針(案)まとめ

山間部に沿って、集落や市街地、浸水想定区域を可能な限り回避でき、通過交通を分離する【案③】別線バイパス案(山側ルート)とする。

国道3号 広川～八女

別線バイパス案(山側ルート) 延長約1.1km

